

障がい学生支援センター

青山学院大学

SAGAMIHARA

PCノートテイク (オンライン)

対面授業同様、二人一組の学生サポーターで『T-TACCaption2』を使用します。授業映像を流しながらリアルタイムでノートテイクを行います。その場にいなくても支援が可能なため所属キャンパスが違ってても支援可能です。

キャンパス間の 横の連携

学生サポーター養成

現在、支援コーディネーターを中心にノートテイクの養成や様々な障がい学生支援のための養成講座を実施しています。夏休み・春休み期間に2日間集中講座として行っています。授業期間中は60分程度の体験会も実施しています。

PCノートテイク (対面)

学生サポーターが二人一組となり、『T-TAC Caption2』システムを使い担当教員の発言を連携入力する情報保障支援です。事前に授業資料を受け取れる場合は資料を参照しながら支援します。

文字起こし

オンデマンド教材は、動画を再生しつつ文字起こしを行います。工夫として区切りで時間を記録し再確認しやすくしています。また、音声認識を利用した方法もある。取り組みやすい反面、誤訳や読みづらいなどの短所もあるため、よりよい文字起こしを心がけています。

音声認識

ゼミや研修室のミーティングにおいてUDトークやVUEVOというアプリを活用して情報保障を行っています。これらのアプリは音声を自動的に文字起こしするため、人手をかけずに迅速に情報を提供することができます。これにより、よりスムーズで効率的なコミュニケーションができるようになりました。



UDトーク



VUEVO(ビューボ)

その他の支援

障がい学生支援センターでは配慮申請をしている学生に対して、ニーズに合わせて支援活動を行っています。聴覚障がい学生の他に、ポイントテイクや移動支援、振り返り学習の補助支援なども行っています。

手書きノートテイク

学生サポーターがルーズリーフなどの紙とペンを使って授業内で聞こえてくる音情報を手書きで記録する情報保障支援です。ノートテイクと補足説明を交代しながら行います。要約筆記の三原則として、『速く、正しく、読みやすく』があります。



TEL: 03-3409-6348

e-mail: agu-support@aoyamagakuin.jp

AOYAMA